

第3次島田市健康増進計画 施策評価シート

計画の基本方針	具体的な施策	内容	担当課	事業名	事業内容	R5 目標値	R1 事業実績 (回数、人数等)	R2 事業実績 (回数、人数等)	R3 事業実績 (回数、人数等)	R4 事業実績 (回数、人数等)	R5 事業実績 (回数、人数等)	計画期間の自己評価	課題と今後の方向性	項目番号		
3 社会生活を営むために必要な機能の維持・向上	3-(1) ころこの健康	自殺予防週間及び自殺対策月間における普及啓発	健康づくり課	自殺予防週間啓発事業	自殺予防週間にFM島田で「ころこの健康相談統一ダイヤル」の啓発を実施する	毎年自殺予防週間にFM島田のスポット放送を実施	自殺予防週間 令和元年9月10日(火)～令和元年9月16日(月)にてFM島田でスポーツ放送実施	自殺予防週間 令和2年9月10日(木)～令和2年9月16日(水)にてFM島田でスポーツ放送実施	自殺予防週間(令和3年9月10日～9月16日)自殺対策強化月間(令和4年3月)に広報しまでで啓発活動・FM島田でスポーツ放送実施	自殺予防週間(令和4年9月10日～9月16日)自殺対策強化月間(令和4年3月)に広報しまでで啓発活動・FM島田でスポーツ放送実施	自殺予防週間(9月10日～9月16日)自殺対策強化月間(3月)に広報しまでで啓発活動・FM島田でスポーツ放送実施、フッ素塗布会場、香林堂薬局で普及啓発を実施。	☆	継続	85		
		地区別健康講座の開催	健康づくり課	保健委員健康講座	保健委員健康講座にて「ゲートキーパー養成講座」を実施する	年度ごとに地区を指定して「ゲートキーパー養成講座」を実施 毎年2回	実施なし	実施なし	実施なし	実施なし	実施なし	実施なし	×	保健委員の任期が1年の地区も多く、十分な活動ができていない。保健委員自身が受講できるよう、受講の機会を周知する。	86	
	市民向け健康講演会の開催	健康づくり課	ころこの健康講演会	ころこの講演会を実施する	毎年1回	実施回数:1回 参加者:29名	実施回数:1回 参加者:41名 youtube配信を実施	『おとなの発達障害 Part2』 実施回数:1回 参加者:79名(会場34名、参加者:45名)	『睡眠について』 実施回数:1回 参加者:191人	『ネット犯罪にあわないために』 実施回数:1回 参加者:24人	☆	継続。周知の方法は検討が必要。	87			
	各種事業におけるリーフレット等の配布	健康づくり課	相談窓口啓発事業	自殺対策の相談窓口の啓発リーフレットを配布する	毎年1回	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止	実施回数:1回 担当課:10課	市内企業や民生児童委員・公民館等へ相談窓口一覧表を572部配布した。	市内企業や民生児童委員・公民館等へ相談窓口一覧表を224部配布した。	ゲートキーパー養成講座などで配布。関係機関や整備場などにも相談窓口一覧表を配布。	☆	相談窓口の一覧表は毎年作成していたが、隔年作成でもよいか検討していく。	88			
	公共施設やコミュニティバスにおけるリーフレット等の設置	健康づくり課	相談窓口啓発事業	自殺対策の相談窓口の啓発リーフレットを配布する	継続	リーフレットの原案作成 配布場所・配布方法の検討	公共施設や医療機関 250部配布した。	9月自殺予防週間に地区回り検診会場での街頭キャンペーン実施やゲートキーパー養成講座等で448部配布した。	9月自殺予防週間に地区回り検診会場での街頭キャンペーン実施やゲートキーパー養成講座等で701部配布した。	9月自殺予防週間に小学生フッ素塗布会場やゲートキーパー養成講座等で配布した。	☆	上に同じ	89			
	市民協働課	女性相談啓発事業	女性相談のチラシなどの広報物を公共施設などに配架する	4月に配架依頼	女性相談のチラシを公共施設などに配架し配布した。また、市役所や市民病院のトイレにカード型の広報物を設置し、広報を行った。	女性相談のチラシを公共施設などに配架し配布した。また、市役所や市民病院のトイレにカード型の広報物を設置し、広報を行った。	女性相談のチラシを公共施設などに配架し配布した。また、市役所や市立総合医療センターのトイレにカード型の広報物を設置し、広報を行った。	女性相談のチラシを公共施設などに配架し配布した。また、市役所や市立総合医療センターのトイレにカード型の広報物を設置し、広報を行った。	女性相談のチラシを公共施設などに配架し配布した。また、市役所や市立総合医療センターのトイレにカード型の広報物を設置し、広報を行った。	女性相談のチラシを公共施設などに配架し配布した。また、市役所や市立総合医療センターのトイレにカード型の広報物を設置し、広報を行った。	女性相談のチラシを公共施設などに配架し配布した。また、市役所や市立総合医療センターのトイレにカード型の広報物を設置し、広報を行った。	◎	相談件数は増加したが、今後も相談窓口の周知を図り、潜在的な困りごとを抱えた女性に向けて情報発信を行っていく。	90		
	生活安心課	市民相談事業	相談窓口でのパンフレット配布	相談窓口でのパンフレット配布:随時	相談窓口でのパンフレット配布:随時	相談窓口でのパンフレット配布:随時	相談窓口でのパンフレット配布:随時	相談窓口でのパンフレット配布:随時	相談窓口でのパンフレット配布:随時	相談窓口でのパンフレット配布:随時	相談窓口でのパンフレット配布:随時	◎	チラシの配架は継続する。	91		
	子育て応援課	子育て応援つながら環境づくり事業	子育てガイドブックの発行	発行冊数 5,000冊	発行冊数 5,000冊	発行冊数 5,000冊	発行冊数 0冊	発行冊数 0冊	発行冊数 0冊	発行冊数 0冊	発行冊数 0冊	×	令和2年度の島田市子育て応援サイトしまいくをリニューアルし、子育てガイドブックの発行終了し、今後、子育てに関する様々な情報を「しまいく」で配信していく。	92		
	商工課	公共施設での情報周知	必要に応じ、歩歩路や音楽広場でのリーフレット等設置	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	93
	学校教育課	教育相談事業	教育センターリーフレット 配布	4月にすべての小中学校に配布(25校)	4月にすべての小中学校に配布(25校)	4月にすべての小中学校に配布(25校)	4月にすべての小中学校に配布(23校)	4月にすべての小中学校に配布(23校)	4月にすべての小中学校に配布(23校)	4月にすべての小中学校に配布(23校)	4月にすべての小中学校に配布(23校)	4月にすべての小中学校に配布(23校)	☆	継続	94	
	妊婦・出産包括支援事業の実施	母親の産後うつや育児によるストレス等に、早期の段階から保健師等が関与し、必要な助言、指導を提供する。	社会教育課	青少年相談	・来所相談 ・不登校やひきこもりの回復を考える家族教室、産後ケアの開催	・随時 ・講座年4回開催、産後ケア年5回開催	・随時 ・講座年4回開催、産後ケア年4回開催	・随時 ・講座年4回開催、産後ケア年2回開催	・随時 ・講座年3回開催、産後ケア年2回開催	・随時 ・家族教室年4回(延べ37人参加)、産後ケア年2回(延べ1人参加)開催	・随時 ・家族教室年4回(延べ33人参加)、産後ケア年3回(延べ7人)開催	◎	・さらに多くの方に家族教室や産後ケアの場を活用してもらえるための広報に取り組み。 ・令和6年度は満足度での詳細も取り、とても満足、まあまあ満足併せて80%以上を達成目標とする。	95		
	育児支援事業の実施	育児に自信がない、育児負担感を感じている親が、集い、交流できる場を設ける。	健康づくり課	NP(ノーバディーズ・プロジェクト)	育児不安や自分の子育てへの感情を整理し、育児へ自信を持つことが出来るよう、育児ストレスの高い母親を支援する教室の実施。	6回×3期	6回×2期 参加者合計:実人数18人 延べ人数58人	5回×1期(コロナ感染拡大防止のため初回は中止とした。) 6回×1期の計2期 参加者合計:実人数13人 延べ人数51人	6回×2期 参加者合計:実人数11人 延べ人数53人	6回×2期 参加者合計:実人数11人 延べ人数49人	6回×2期 参加者合計:実人数13人 延べ人数57人 講座満足度:1期89.5点 2期92.5点	◎	引き続き、母親同士の交流の場を設けることで、育児負担の軽減を図る。年2回の実施のため、タイムリーに講座に誘えない場合がある。また、継続する母親が増えたことで、対象であっても講座に来られない場合も多い。	96		

計画の基本方針	具体的な施策	内容	担当課	事業名	事業内容	R5 目標値	R1 事業実績 (回数、人数等)	R2 事業実績 (回数、人数等)	R3 事業実績 (回数、人数等)	R4 事業実績 (回数、人数等)	R5 事業実績 (回数、人数等)	計画期間の自己評価	課題と今後の方向性	項目番号		
	ひとり暮らし高齢者等緊急通報システムの活用	在宅のひとり暮らし高齢者等の自宅に緊急通報装置等を設置して、日常生活の見守りと緊急事態の対応を行うとともに、電話による定期的な安否確認を行う。	長寿介護課	ひとり暮らし高齢者等緊急通報システム事業	在宅のひとり暮らし高齢者等の自宅に緊急通報装置等を設置して、日常生活の見守りと緊急事態の対応を行うとともに、電話による定期的な安否確認を行う。	機器設置者:385人	機器設置者:369人	機器設置者:352人	機器設置者:341人	機器設置者:335人	機器設置者:318人	◎	新規利用者の増加数を施設入所等による減少数が上回る状態が続いている。今後適切な見守りを実施できるよう、事業周知を進める。	97		
			福祉課				機器設置者:6人	機器設置者:5人	機器設置者:4人	機器設置者:4人	機器設置者:3人	◎	利用者が減少しており、システムの需要から再検討する必要がある	98		
	高齢者等配食サービス事業の実施	調理が困難な高齢者のみの世帯等に対して、栄養バランスのとれた昼食を定期的に提供するとともに、安否確認を行う。	長寿介護課	高齢者等配食サービス事業	調理が困難な高齢者のみの世帯等に対して、栄養バランスのとれた昼食を定期的に提供するとともに、安否確認を行う。	28,700食	23,833食	23,916食	20,662食	20,332食	23,801食	○	新規利用者増加傾向。今後、対象者に対して適切な利用食数を配食していきながら目標値に近づけていきたい。	99		
			福祉課	高齢者等配食サービス	ひとり暮らし等で調理が困難な障害者に対し、安否確認を兼ねた食事の提供	必要な人にサービスを提供する。	利用者:6名 配食数:868食	利用者:6名 配食数:923食	(ごはんとおかずセット)利用者 5人 配食数 779回 (おかずのみ)利用者 3人 配食数 148回	(ごはんとおかずセット)利用者 4人 配食数 617回 (おかずのみ)利用者 4人 配食数 571回	(ごはんとおかずセット)利用者 1人 配食数 294回 (おかずのみ)利用者 3人 配食数 529回	◎	利用者が減少しているという課題は残るが、今後も相談員を中心に適切な配食サービスを提案していく。	100		
各種相談事業の実施	適宜適切な相談窓口で相談できるように、各専門分野を生かした電話相談、来所相談を実施する。		健康づくり課	①健康相談 ②ゲートキーパー専門研修	①健康の日健康相談・健康相談(電話・来所)の実施 ②こころの健康問題に対する相談を受けられるよう、職員がゲートキーパー専門研修を受講する	①随時 ②年間 2人	①健康相談:1866人 ②研修参加:2回 参加延べ人数:3人	①健康相談:1617人 ②研修参加:1回 参加延べ人数:2人	①健康相談:2618人 ②研修参加:1回 参加延べ人数:2人	①健康相談:2735人	①健康相談:1,304人 ②研修参加	◎	新型コロナウイルス感染症が感染症法第5類に以降したことにより、健康相談の件数は減少している。引き続き、市民が相談しやすい窓口として周知していく。	101		
			市民協働課	女性相談事業	女性を対象とした相談窓口「女性相談」を設置。ジェンダー問題専門の相談員(フェミニスト・カウンセラー)による面談を通じて、家庭や職場などでの困難を抱えた女性のサポートを行う。	相談件数35件	相談件数37件	相談件数40件	相談件数38件	相談件数44件	相談件数51件	◎	相談内容がDVや児童虐待に関連する可能性があるものについては、子育て応援課とさらに連携を図っていく。	102		
			生活安心課	市民相談事業	市民相談室で各種相談事業を行う	一般相談:750件 消費生活相談:550件	一般相談:786件 消費生活相談:506件	一般相談:718件 消費生活相談:493件	一般相談:660件 消費生活相談:474件	一般相談:778件 消費生活相談:505件	一般相談:859件 消費生活相談:500件	○	一般相談件数の増については、相談登記の義務化の影響で相談・贈与に関する相談が多く、関心が高まっていると考えられる。今後も法律改正等の動向に注目し、適切に対応を行えるよう相談員の知識取得に努める。	103		
			福祉課	障害者相談支援事業	障害者に対し、電話及び来所等により健康に関する相談も受ける	5,000件	4,731件	5,218件	5,458件	5,852件	6,936件	☆	相談件数が年々増加する中で、相談支援の中核的な役割を担う機関として、R3年度から基幹相談支援センターを設置しており、計画相談や委託相談との棲み分けを検討していく。	104		
			子育て応援課	子育てコンシェルジュ	全ての児童に係る相談窓口として、保護者からの相談を受け、そのニーズに合った子育て支援サービスについての情報提供及び児童に係る悩みや発達相談等を受ける。	電話・メールによる相談 130件 来庁による相談 80件 地域活動 130件 会議・他課との連携 174件 その他 35件	電話・メールによる相談 159件 来庁による相談 102件 地域活動 139件 会議・他課との連携 174件 訪問等支援 19件	電話・メールによる相談 225件 来庁による相談 71件 地域活動 148件 会議・他課との連携 134件 訪問等支援 16件	電話・メールによる相談 183件 来庁による相談 85件 地域活動 276件 会議・他課との連携 119件 訪問等支援 33件	電話・メールによる相談 175件 来庁による相談 69件 地域活動 264件 会議・他課との連携 169件 訪問等支援 52件	電話・メールによる相談 166件 来庁による相談 54件 地域活動 184件 会議・他課との連携 153件 訪問等支援 15件	◎	引き続き、地域と連携しながらいろいろな場で子育て相談やサービスの紹介を実施していく	105		
			子育て応援課	家庭児童相談事業	児童虐待・DV・子育て等子どもに関するあらゆる相談に応じ、個々の子どもや家庭に適した処遇等の検討を行い、子どもの福祉の増進を図る。	相談件数500件	相談件数676件	相談件数502件	相談件数470件	相談件数427件	相談件数516件	☆	相談が整理され、より困難ケースが相談に繋がった。子ども家庭センターの開設により関係機関と早期連携を図って対応していく。	106		
			学校教育課	教育相談事業	教育相談	515件	587件	581件	532件	510件	701件	☆	継続	107		
			社会教育課	青少年相談	・来所相談 ・不登校やひきこもりの回復を考慮した家族教室、座談会の開催	・随時 ・講座年4回開催、座談会年5回開催	・随時 ・講座年4回開催、座談会年4回開催	・随時 ・講座年4回開催、座談会年2回開催	・随時 ・講座年3回開催、座談会年2回開催	・随時 ・家族教室年4回(延べ37人参加)、座談会年2回(延べ1人参加)開催	・随時 ・家族教室年4回(延べ33人参加)、座談会年3回(延べ7人)開催	○	・さらに多くの方に家族教室や座談会の場を活用してもらえようとの広報に取り組む。 ・令和6年度は満足度での評価も行う。とても満足、まあまあ満足併せて80%以上を達成目標とする。	108		
			相談窓口の周知	関係機関の相談窓口の情報を集約して一覧にし、周知を図る。	健康づくり課	相談窓口啓発事業	自殺対策の相談窓口の啓発リーフレットを配布する	リーフレットの配布	リーフレットの原案作成 配布場所・配布方法の検討	庁内連絡委員会が所属する10課と島田市立総合医療センターへ220部配布した。	庁内連絡委員会が所属する10課と島田市立総合医療センターへ220部配布した。	市内企業、職業安定所、公民館などへ相談窓口一覧表を配布した。	市内企業、職業安定所、公民館などへ相談窓口一覧表を配布した。	◎	引き続き継続	109

計画の基本方針	具体的な施策	内容	担当課	事業名	事業内容	R5 目標値	R1 事業実績 (回数、人数等)	R2 事業実績 (回数、人数等)	R3 事業実績 (回数、人数等)	R4 事業実績 (回数、人数等)	R5 事業実績 (回数、人数等)	計画期間の自己評価	課題と今後の方向性	項目番号
3-(2) 次世代の健康	小中学校・高校における保健学習と指導の充実	市内の小中学生・高校生を対象に、健康なこころと身体づくりについて啓発している。	学校教育課	保健学習の充実	身体測定の実施 保健授業の実施	年2回以上の身体測定の実施	年2回以上の身体測定の実施	年2回以上の身体測定の実施	年2回以上の身体測定の実施	年2回以上の身体測定の実施	年3回以上の身体測定の実施	☆	継続	110
	適正体重の管理(やせの予防)のための食生活の支援	適正体重の管理(やせの予防)についてなど、適切な食生活に関する講話を実施する。	健康づくり課	保健学習の実施	保健学習の実施	実施	未実施	市内高等学校における食育講座 3回 97人	市内高等学校における食育講座 2回 83人	市内高等学校における食育講座 3回	市内高等学校における食育講座 2回	○	実施高校を増やしていく。	111
	母子健康手帳交付時の保健指導の実施	妊娠中の適切な生活習慣(食習慣や体重管理など)について情報提供と保健指導を行う。	健康づくり課	母子手帳交付	母子手帳交付時にアンケート実施し、必要に応じて助言、指導を実施	母子手帳交付面談 100%	母子手帳交付数 646件(100%)	母子手帳交付数 594件(100%)	母子手帳交付数 579件(100%)	母子手帳交付数 534件(100%)	母子手帳交付数 529件(100%)	◎	体調や仕事等で交付に本人が来所できないことがあるが、後日、本人との面談を実施し、本人から話を聞くようにしている。引き続き来所できない方も含む状況確認し、助言等を行っていく。	112
	乳幼児健診など、母子保健事業での保健指導の実施	子育て期の様々な機会に、母子それぞれに適切な生活習慣に関する保健指導を行う。また、育児の相談に対応した情報の提供や、活用できるサービスの周知を行う。	健康づくり課	4か月児健診・10か月児健診・1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査	4ヶ月・10ヶ月健診は医療機関に委託し検査を行う。要フォロー必要時は電話などで事後フォローを行う。 1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査では、発育発達確認や育児についての相談を行う。未受診者への受診勧奨を1、受診率の向上	4か月児健診・10か月児健診・1歳6か月児健診 受診者:667人(100%) 10か月児健診 受診者:656人(99.5%) 1歳6か月児健診 受診者:647人(101.6%) 3歳児健診 受診者:674人(98.0%)	4か月児健診 受診者:631人(100.8%) 10か月児健診 受診者:660人(100.3%) 1歳6か月児健診 受診者:674人(99.0%) 3歳児健診 受診者:702人(97.9%)	4か月児健診 受診者:597人(97.2%) 10か月児健診 受診者:572人(97.4%) 1歳6か月児健診 受診者:674人(99.0%) 3歳児健診 受診者:702人(97.9%)	4か月児健診 受診者:566人(99.8%) 10か月児健診 受診者:599人(98.3%) 1歳6か月児健診 受診者:587人(98.8%) 3歳児健診 受診者:732人(100.7%)	4か月児健診 受診者:513人(96.6%) 10か月児健診 受診者:539人(97.8%) 1歳6か月児健診 受診者:603人(100.3%) 3歳児健診 受診者:617人(99.4%)	4か月10か月児健診は、委託医療機関で実施のため、結果を受け必要時には情報提供等を行った。幼児健診時には、事前アンケート等を確認し、生活状況把握に努め、保健師による個別面談では、個々にあった助言指導や子育て応援課等と連携し適切な窓口の周知を実施した。	◎	113	
	子育て支援サービスの実施と情報発信	育児不安の解消につながるよう訪問事業や子育て支援センターなどの子育て支援サービスを実施し情報発信する。	健康づくり課	乳児全戸訪問事業	生後2ヶ月以内の赤ちゃん訪問	全数訪問	対象件数675件 実施率100%	対象件数593件 実施率100%	対象件数596件 実施率100%	対象件数554件 実施率100%	対象件数515件 実施率100%	☆	産後の心配や困りごとで早期に対応することができるよう、可能な限り、生後2か月以内に訪問した。引き続き訪問実施率100%を目標としていく。	114
	子育て応援課	育児で悩む子育て世代の支援	育児サポーター派遣事業	就学前の子どものいる出産前180日以内の母親の家庭へ訪問による育児相談・援助を行い、子育てが安心して生活できることを目指す	申請者数 200人 派遣回数 30回(妊娠中) 1000回(出産後)	申請者数 177人 派遣回数 18回(妊娠中) 896回(出産後)	申請者数 142人 派遣回数 25回(妊娠中) 725回(出産後)	申請者数 219人 派遣回数 33回(妊娠中) 831回(出産後)	申請者数 165人 派遣回数 12回(事前) 21回(妊娠中) 761回(出産後)	申請者数 217人 派遣回数 175回(事前) 20回(妊娠中) 969回(出産後)	◎	産前産後の母親の支援を今後も丁寧に行いながら、育児サポーターの派遣期間が終了しても自立した子育てができるようサポートしていく。	115	
	子育て応援課	地域子育て支援センター運営事業	地域において子育て親子(未就園)及び妊婦の交流等を促進し、育児に関する相談業務等を行う。	利用人数42,000人 相談件数2,325件	利用人数39,505人 相談件数2,587件	利用人数27,694人 相談件数1,958件	利用人数23,551人 相談件数2,311件	利用人数24,535人 相談件数1,963件	利用人数26,616人 相談件数2,449件	△	出生数の減少や早期入園と家庭で保育をしている世帯の減少が相俟、孤立しない子育ての居場所として、気軽な相談場所として運営を工夫していく。	116		
	子育て応援課	子育て応援つなげる環境づくり事業	子育てポータルサイト、LINEの活用により子育てに関する情報発信を行う。	子育て応援サイトページビュー数 450,000回	子育て応援サイトページビュー数 378,718回	子育て応援サイトページビュー数 496,748回	子育て応援サイトページビュー数 373,724回	子育て応援サイトページビュー数 341,936回	子育て応援サイトページビュー数 414,614回	◎	子育てイベント等の開催が増え、子育て世代向けの情報発信が増えた。サイトを身近な存在として利用してもらうため、利用者アンケートを実施し、サイト内のコンテンツの見直し、UIの改善、情報の伝え方等の工夫・検討を行い、目標値の達成に努めていく。	117		
	望ましい生活習慣の習得の支援	保育園、幼稚園、こども園、小・中学校と連携し、子どもの頃から望ましい生活習慣が身につくように支援する。	健康づくり課	7ヶ月児相談 幼児健康診査事業	7ヶ月児相談・1歳6か月児健診・3歳児健診で生活習慣についての相談を行う。未受診者への受診勧奨をし、受診率の向上を図る。	7ヶ月児相談 受診者:600人(99.2%) 1歳6か月児健診 受診者:647人(101.6%) 3歳児健診 受診者:674人(98.0%)	7ヶ月児相談 受診者:582人(97.6%) 1歳6か月児健診 受診者:752人(99.5%) 3歳児健診 受診者:816人(98.4%)	7ヶ月児相談 受診者:580人(99.7%) 1歳6か月児健診 受診者:674人(99.0%) 3歳児健診 受診者:702人(97.9%)	7ヶ月児相談 受診者:592人(98.5%) 1歳6か月児健診 受診者:587人(98.8%) 3歳児健診 受診者:732人(100.7%)	7ヶ月児相談 受診者:513人(97.2%) 1歳6か月児健診 受診者:603人(100.3%) 3歳児健診 受診者:617人(99.4%)	◎	健診時に事前アンケート等を確認し、生活状況把握に努め、保健師による個別面談で助言指導等実施した。引き続き、事業継続していく。	118	
	子育て支援課	園便り・クラスだより クラス懇談会	園で発行する便り・クラス懇談会を通じて、生活に関する内容や情報を提供する。	園だより 月1回 クラスだより 月1~2回 クラス懇談会 年6回	園だより 月1回 クラスだより 月1~2回 クラス懇談会 年6回	園だより 月1回 クラスだより 月1~2回 クラス懇談会 年6回	園だより 月1回 クラスだより 月1~2回 保育参加 47人	園だより 月1回 クラスだより 月1~2回 保育参加	園だより 月1回 クラスだより 月1~2回 保育参加	園だより 月1回 クラスだより 月1~2回 保育参加	○	園だよりなどで生活に関する内容や情報を提供する。また、園々の生活習慣が違ふので職員への対応のスキルをあげていく。	119	
	学校教育課	保幼小合同研修会	児童の食生活等について、情報を引き継ぐ等の連携を図る	年2回 開催	年2回 開催	年1回 開催 (新型コロナウイルスにより減)	年1回 開催 (新型コロナウイルスにより減)	年1回 開催 (新型コロナウイルスにより減)	年2回 開催	☆	継続	120		
	歯や口の健康の必要性についての啓発	妊娠前から子育て期における様々な機会を通じて、適切な口腔衛生に関する保健指導を行う。	健康づくり課	7ヶ月児相談 幼児健康診査事業 フッ化物塗布 一般歯科健診	7ヶ月児相談・1歳6か月児健診・3歳児健診で生活習慣についての指導を実施 フッ化物塗布 67回 5,000人 一般歯科健診 4回 100人	7ヶ月児相談 受診者:600人(99.2%) 1歳6か月児健診 受診者:647人(101.6%) 3歳児健診 受診者:674人(98.0%) フッ化物塗布 80回 4,958人 一般歯科健診 4回 96人	7ヶ月児相談 受診者:562人(97.6%) 1歳6か月児健診 受診者:752人(99.5%) 3歳児健診 受診者:816人(98.4%) フッ化物塗布 78回(平日:1回)、4,835人 一般歯科健診3回 75人	7ヶ月児相談 受診者:587人(99.7%) 1歳6か月児健診 受診者:674人(99.0%) 3歳児健診 受診者:702人(97.9%) フッ化物塗布 78回(平日:1回)、3,610人 一般歯科健診3回 74人	7ヶ月児相談 受診者:592人(98.5%) 1歳6か月児健診 受診者:587人(98.8%) 3歳児健診 受診者:732人(100.7%) フッ化物塗布 86回(平日:1回)、3,429人 妊産婦歯科健診 4回 127人	7ヶ月児相談 受診者:509人(96.4%) 1歳6か月児健診 受診者:587人(98.8%) 3歳児健診 受診者:603人(100.3%) 3歳児健診 受診者:617人(99.4%) フッ化物塗布 86回(平日:1回)、3,429人 妊産婦歯科健診 4回 127人	◎	歯科に関してのDVDを作成し、7か月児相談時に上映と、歯科衛生士による指導を行った。引き続き、事業の継続を行っていく。	121	
予防接種の実施と未接種者対策の実施	伝染の恐れがある疾病の発生及び蔓延を防止するため予防接種を行う。未接種者には受診勧奨を行う。	健康づくり課	予防接種事業 幼児健康診査事業	赤ちゃん訪問、各種健診時に接種勧奨を行う。未接種者には随時通知で個別接種勧奨を行う。	MR混合第2期接種率 95% 幼児健診で未接種者への勧奨の徹底	MR混合第2期接種率 93.6%(平成30年度) 1歳6か月児健診 受診者:647人(101.6%) 3歳児健診 受診者:674人(98.0%)	MR混合第2期接種率 93.6%(平成30年度) 1歳6か月児健診 受診者:587人(98.8%) 3歳児健診 受診者:702人(97.9%)	MR混合第2期接種率 93.6%(平成30年度) 1歳6か月児健診 受診者:674人(99.0%) 3歳児健診 受診者:732人(100.7%)	MR混合第2期接種率 93.6%(平成30年度) 1歳6か月児健診 受診者:587人(98.8%) 3歳児健診 受診者:617人(99.4%)	☆	健診時に、個別に予防接種履歴を確認し、必要時指導を行った。引き続き事業の継続を行っている。	122		

計画の基本方針	具体的な施策	内容	担当課	事業名	事業内容	R5 目標値	R1 事業実績 (回数、人数等)	R2 事業実績 (回数、人数等)	R3 事業実績 (回数、人数等)	R4 事業実績 (回数、人数等)	R5 事業実績 (回数、人数等)	計画期間の自己評価	課題と今後の方向性	項目番号
3-(3) 高齢者の健康	高齢者の健康・栄養支援	高齢者を対象とした低栄養予防などの健康教育・健康相談を実施する。	包括ケア推進課	介護予防普及啓発事業	高齢者を対象とした低栄養予防などの健康教育・健康相談を実施する。	出前講座(介護予防) 10回	出前講座(介護予防) 35回	出前講座(介護予防) 16回	出前講座(介護予防) 21回	出前講座(介護予防) 19回	出前講座(介護予防) 15回	☆	申請があり次第、適宜対応をしていく。出前講座の様相のなかで要望に沿った対応を行っている。	123
	しまとれ・居場所づくり・地域ふれあい事業・パワーリハビリ教室の推進	高齢者の生きがいづくりや閉じこもりがちな高齢者の社会参加を促すなど、支援に努める。	包括ケア推進課	しまとれ推進事業 居場所づくり事業 地域ふれあい事業 パワーリハビリ教室事業	高齢者の生きがいづくりや閉じこもりがちな高齢者の社会参加を促し、地域での交流をいっしょに体創りづくりの推進を図る。	【しまとれ】 実施箇所数 132箇所 支援回数 144回 【居場所】 実施箇所数 80箇所 【ふれあい】 実施団体数 57団体 支援回数:130回 【パワーリハビリ教室】 実施箇所数 3箇所 実施回数:58回 実利用者数 624人	【しまとれ】 実施箇所数 82箇所 支援回数 112回 【居場所】 実施箇所数 61箇所 【ふれあい】 実施団体数:57団体 支援回数:120回 【パワーリハビリ教室】 箇所数:3箇所 実施回数:196回 参加者数:554人	【しまとれ】 実施箇所数 86箇所 支援回数 72回 【居場所】 実施箇所数 68箇所 【ふれあい】 実施団体数:56団体 支援回数:70回 【パワーリハビリ教室】 箇所数:3箇所 実施回数:319回 参加者数:74人	【しまとれ】 実施箇所数 91箇所 支援回数 80回 【居場所】 実施箇所数 73箇所 【ふれあい】 実施団体数:45団体 支援回数:74回 【パワーリハビリ教室】 箇所数:3箇所 実施回数:560回 参加者数:163人	【しまとれ】 実施箇所数 97箇所 支援回数 84回 【居場所】 実施箇所数 73箇所 【ふれあい】 実施団体数: 51 団体 支援回数: 117 回 【パワーリハビリ教室】 箇所数: 3箇所 実施回数: 472回 参加者数: 233人	【しまとれ】 実施箇所数 102箇所 支援回数 83回 【居場所】 実施箇所数 70箇所 【ふれあい】 実施団体数: 52 団体 支援回数: 94回 【パワーリハビリ教室】 箇所数:3箇所 実施回数:472回 参加者数:276人	○	【しまとれ】参加者の高齢化に伴い、団体の維持・存続が難しくなっている。新規参加者を増やすための広報や、参加者のモチベーションを維持・向上するための支援を実施していく。 【居場所】既存団体の維持・存続が難しくなっているため、補助等を活用するなどの支援をしていく。 【ふれあい】団体数、支援回数共にR4よりも増加し、新型コロナ前の水準に近づいている。今後も支援を継続していく。 【パワーリハビリ教室】令和5年度後期から、おろり会場をより広い保健福祉センターへ移転した。令和6年度後期から、金谷教室をかなえらへ移転し、さらに環境改善を図る。令和5年度はサポーターの減少に伴い、2コースを休止したが、令和6年度は2コースを再開し、保健福祉センター、六合会場の定員を増やす。人数の目標については、効果的な教室運営のために、令和4年度に3期制から2期制へ変更したため、数値的には届いていない状態であるが、令和5年度は定員を超過する受講申し込みがあった。	124
	シニアサポーターの養成講座及び元氣・脳力アップ塾の開催	地域活動の担い手として活躍するサポーターの育成に努める。	包括ケア推進課	シニアトレーニング指導員養成講座 元氣・脳力アップ塾	地域活動の担い手として活躍するサポーターの育成に努める。	シニアトレーニング指導員養成講座 24回 42人 元氣・脳力アップ塾 講座回数:15回(5回×3会場)、参加者数:60人(20人×3会場)	シニアトレーニング指導員養成講座 30回 44人 元氣・脳力アップ塾 講座回数:15回(5回×3会場)、参加者数:52人	シニアトレーニング指導員養成講座 12回 18人 元氣・脳力アップ塾 講座回数:15回(5回×3会場)、参加者数:33人	シニアトレーニング指導員養成講座 24回 12人 元氣・脳力アップ塾 講座回数:7回(5回×1会場、2回×1会場)、参加者数:24人	シニアトレーニング指導員養成講座 24回 12人 元氣・脳力アップ塾 講座回数:15回(5回×3会場)、参加者数:50人	シニアトレーニング指導員養成講座 24回 23人 元氣・脳力アップ塾 講座回数:15回(5回×3会場)、参加者数:55人	○	【シニアトレーニング指導員養成講座】令和5年度は開催曜日を変更して、新規受講生を獲得することができたため、令和6年度以降もニーズに合わせて講座の開催について検討を行っている。 【元氣・脳力アップ塾】全ての回を実施できた。会場の広さに合わせた参加人数とされたため参加者は達していない。会場を検討していく。	125
	認知症出前講座・脳の健康度テスト・認知症講演会の開催・認知症サポーター要請講座の開催	認知症に関する講座や教室を開催し、認知症の予防をはじめ、認知症の正しい理解の普及に努める。	包括ケア推進課	介護予防普及啓発事業 認知症サポーター養成事業	認知症に関する講座や教室を開催し、認知症の正しい理解の普及に努める。	出前講座(認知症) 6回 認知症サポーター数 17,000人 キャラバン・メイト数 185人 脳の健康度テスト 11回 190人	出前講座(認知症) 6回 認知症サポーター数 13,438人 キャラバン・メイト数 154人 脳の健康度テスト 11回 192人	出前講座(認知症) 1回 認知症サポーター数 14,007人 キャラバン・メイト数 154人 脳の健康度テスト 9回 84人	出前講座(認知症) 5回 認知症サポーター数 14,839人 キャラバン・メイト数154人 脳の健康度テスト 6回 46人	出前講座(認知症) 4回 認知症サポーター数 16,007人 キャラバン・メイト数 172人 脳の健康度テスト 9回 88人	出前講座(認知症) 2回 認知症サポーター数 16,876人 キャラバン・メイト数 175人 脳の健康度テスト 6回 74人	△	【認知症サポーター養成講座】認知症サポーター養成講座受講者数は増加傾向にあるため、このまま適宜実施していく。申し込みを増やすために、宣伝方法を考えていく。 【脳の健康度テスト】周知方法の工夫により、定期開催の受講人数は前年度と比較し増加しているものの、出前講座の依頼が無かったことも影響し、計画には及ばなかった。出前講座に關しても周知を行っている。	126
	ひとり暮らし高齢者等緊急通報システムの活用(再掲)	在宅のひとり暮らし高齢者等の自宅に、緊急通報装置等を設置して、日常生活の見守りと緊急事態の対応を行うとともに、電話による定期的な安否確認を行う。	長寿介護課	ひとり暮らし高齢者等緊急通報システム事業	在宅のひとり暮らし高齢者等の自宅に緊急通報装置等を設置して、日常生活の見守りと緊急事態の対応を行うとともに、電話による定期的な安否確認を行う。	機器設置者:385人	機器設置者:369人	機器設置者:352人	機器設置者:341人	機器設置者:335人	機器設置者:318人	◎	新規利用者の増加数を施設入所等による減少数が上回る状態が続いている。今後も適切な見守りを実施できるよう、事業周知を進める。	127
ひとり暮らし高齢者等緊急通報システム事業	在宅のひとり暮らし高齢者等の自宅に緊急通報装置等を設置して、日常生活の見守りと緊急事態の対応を行うとともに、電話による定期的な安否確認を行う。	福祉課	ひとり暮らし高齢者等緊急通報システム事業	在宅のひとり暮らし高齢者等の自宅に緊急通報装置等を設置して、日常生活の見守りと緊急事態の対応を行うとともに、電話による定期的な安否確認を行う。	必要な人にサービスを提供する。	機器設置者:6人	機器設置者:5人	機器設置者:4人	機器設置者:4人	機器設置者:3人	◎	利用者が減少しており、システムの需要から再検討の必要がある	128	

計画の基本方針	具体的な施策	内容	担当課	事業名	事業内容	R5 目標値	R1 事業実績 (回数、人数等)	R2 事業実績 (回数、人数等)	R3 事業実績 (回数、人数等)	R4 事業実績 (回数、人数等)	R5 事業実績 (回数、人数等)	計画期間の自己評価	課題と今後の方向性	項目番号
	高齢者等配食サービス事業の実施(再掲)	調理が困難な高齢者のみの世帯等に対して、栄養バランスのとれた昼食を定期的に提供するとともに、安否確認を行う。	福祉課	高齢者等配食サービス	ひとり暮らし等で調理が困難な障害者に対し、安否確認を兼ねた食事の提供	必要な人にサービスを提供する。	利用者:6名 配食数:868食	利用者:6名 配食数:923食	(ごはんとおかずセット) 利用者 5人 配食数 779回 (おかずのみ) 利用者 3人 配食数 148回	(ごはんとおかずセット) 利用者 4人 配食数 617回 (おかずのみ) 利用者 4人 配食数 571回	(ごはんとおかずセット) 利用者 1人 配食数 294回 (おかずのみ) 利用者 3人 配食数 529回	◎	利用者が減少しているという課題は残るが、今後も相談員を中心に適切な配食サービスを提案していく。	129
			長寿介護課	高齢者等配食サービス事業	調理が困難な高齢者のみの世帯等に対して、栄養バランスのとれた昼食を定期的に提供するとともに、安否確認を行う。	28,700食	23,833食	23,916食	20,662食	20,332食	23,801食	○	新規利用者増加傾向。今後、対象者に対して適切な利用食数を配食していきながら目標値に近づけていきたい。	130
	肺炎球菌予防接種事業の実施	肺炎の重症化予防のため、高齢者肺炎球菌予防接種事業を実施する。	健康づくり課	予防接種事業	過去に高齢者肺炎球菌の接種歴のない次のいずれかの者で①平成31年度中に65、70、75、80、85、90、95、100歳となる者及び平成30年度末に100歳以上となる者②60歳以上65歳未満で条件を満たす者に個別接種勧奨通知を送付する。	接種機会の維持	接種勧奨通知発送者数:4,119人 接種者数:1,046人	接種勧奨通知発送者数:4,021人 接種者数:976人	接種勧奨通知発送者数:3,801人 接種者数:835人	接種勧奨通知発送者数:4,302人 接種者数:836人	接種勧奨通知発送者数:4,138人 接種者数:861人	△	各年度対象の対象年齢となる方に通知を送付し、接種を勧奨した。引き続き接種勧奨し、50%接種率をめざす。	131